

第1回 宮城・山形県境部の道路に関する懇談会の概要

1. 日時:平成26年7月9日(水)
13時30分～15時

2. 場所:東急ビル 2F 会議室

3. 出席者:

門脇 雅之 宮城県土木部道路課長

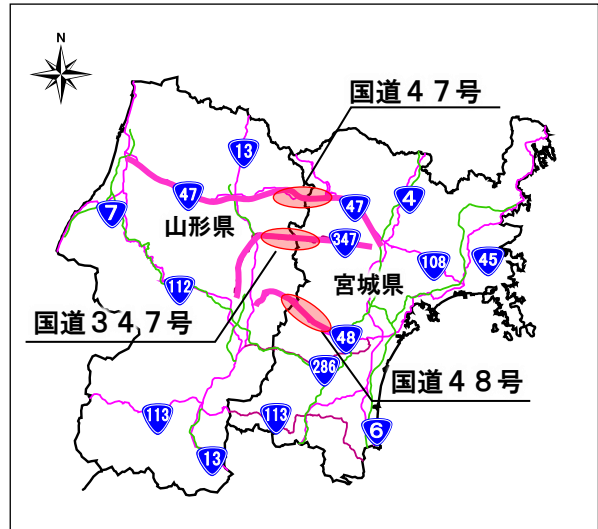
菅井 時弘 山形県県土整備部道路整備課長

佐藤 良一 仙台市建設局道路部長

米澤 明男 国土交通省東北地方整備局道路部道路計画第一課長

種市 優 国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所副所長

大場 義行 国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所副所長



4. 議事:

- (1) 宮城県・山形県における地域連携
- (2) 道路構造と交通状況
- (3) 事業区間の状況
- (4) 国道48号における雪崩発生概要
- (5) 国道48号の観光期における交通状況

5. 議事内容(主な意見):

- 山形県側は経済交流の重要性から道路整備にも力を入れているが、宮城県側は整備が進んでおらず、震災時はこれが負荷となった。これを契機に県境道路の対策が重要視されており、復興計画の重点施策としている。
- 山形の経済活動は宮城に大きく依存しており、山形県としても宮城・仙台と連携強化したいと考えている。
- 両県が抱える将来的な問題やビジョンを出しながら、道路での必要性を整理し目標を持って進めていくことが重要。
- 今後は、事故等の道路状況データを提示し、観光支援や渋滞解消のため何ができるか議論したい。また、各県の産業面の強さを繋げる方策や、災害時に果たす役割について整理することが必要。